

報道関係者各位

十和田市現代美術館 記者会見のご案内

十和田市現代美術館では、指定管理者制度移行に伴う新体制についておよび春期企画展 栗林隆《WATER >|< WASSER》（ウォーター・水・ヴァッサー）についての記者会見を開催いたします。

つきましては、下記のとおり記者会見を開催いたしますので、ご多用とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

■概要

開催日時：2012年4月21日（土）16:00-

会場：十和田市現代美術館

第1部：十和田市現代美術館新体制について

第2部：春期企画展 栗林隆《WATER >|< WASSER》について

■出席者（予定）

館長	坂戸勝
副館長	藤浩志
特別顧問	南條史生（森美術館館長、前十和田市現代美術館運営委員会委員長）
アーティスト	栗林隆

■資格取材要領

○記者会見を通じて、撮影・取材可能です。

○取材を希望される方は、添付の返信表に必要事項をご記入の上、4月20日（金）午前中までに、メールまたはファックスにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

また席数が限られておりますため、先着順とさせていただきます。

お席がご用意できなかった場合に限り、事務局よりご連絡を申し上げます。

FAX返信表

十和田市現代美術館行き fax 0176-20-1138

email nii@nanjo.com

会場：十和田市現代美術館

- | | | | |
|--------------|-------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ① 展覧会セレモニー | 4月21日10:00- | <input type="checkbox"/> 出席 | <input type="checkbox"/> 欠席 |
| ② 記者会見 | 4月21日16:00- | <input type="checkbox"/> 出席 | <input type="checkbox"/> 欠席 |
| ③ 展覧会レセプション | 4月21日17:00- | <input type="checkbox"/> 出席 | <input type="checkbox"/> 欠席 |
| ④ アーティスト・トーク | 4月22日14:00- | <input type="checkbox"/> 出席 | <input type="checkbox"/> 欠席 |

ゲスト：中田英寿（一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATION 代表理事）
南條史生（森美術館館長）

<必要事項>

- 1) 貴社名：
- 2) ご所属／媒体名：
- 3) ご芳名：
- 4) ご住所：
- 5) TEL：
- 6) FAX：
- 7) E-mail：
- 8) 撮影の有無（VTRまたはスチールをご希望の場合はご連絡ください）
- 9) 通信欄（インタビューや取材のご希望がありましたらご連絡ください）

※本件に関するお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。

ナンジョウアンドアソシエイツ／十和田市現代美術館

担当 新居（にい） 090-8081-1762 nii@nanjo.com／豊川 0176-20-1127 info@towadaartcenter.com

<http://www.towadaartcenter.com>

報道関係者各位

1 春期大型企画展 栗林隆個展についてのご案内

《WATER >|< WASSER》(ウォーター・水・ヴァッサー)

2012年4月21日(土) - 9月2日(日)

2 指定管理者制度移行と新しい運営体制についてのご案内



photo by Kuniya Oyamada

※本件に関するお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。

ナンジョウアンドアソシエイツ／十和田市現代美術館

担当 新居 (にい) 090-8081-1762 nii@nanjo.com／豊川 0176-20-1127 info@towadaartcenter.com

<http://www.towadaartcenter.com>

1 春期展覧会についてのご案内

春期大型企画展

栗林 隆 《WATER > | < WASSER》

2012年4月21日（土） - （9月2日（日）） 十和田市現代美術館

～自然と人間の新しい関係を探究する 栗林隆の日本初個展開催～

■展覧会概要

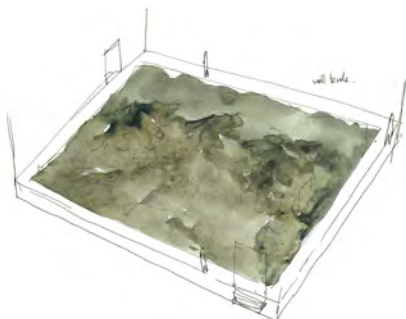
Arts Towada/十和田市現代美術館に大型インスタレーション「ザンプランド」を恒久展示する栗林隆の展覧会を開催します。また本展覧会は栗林隆の日本での初個展になります。

本展では、「水」をテーマに、大規模な新作インスタレーション、映像作品を中心とし、美術館と街中での展開により多様な表現を可能にします。

栗林隆は一貫して人間と自然の関係性を表現の主題とし、「境界」をテーマに作品を展開してきました。東日本大震災を経て、私たちの自然に対する考え方は一変しました。栗林の作品を通して、人間の根源的な感性や、環境に対する深い思いをあらたに感じるようになるでしょう。



himmel oberfläche



本展のためのスケッチ



軍艦島 YATAI TRIP

■本展のみどころ

1. 「水」の多様性を表現する展覧会構成

気体としての水、個体としての水、液体としての水、物体としての水、エネルギーとしての水など、水のさまざまな力を感じる展覧会構成となっています。水を通して自然と人間の多様な関係性のあり方を探ります。

2. 大スケールの新作インスタレーションによる作品体験

大型サイトスペシフィック・インスタレーションで知られる栗林隆が、さらに大スケールの新作インスタレーションを制作します。観客は作品の中に入り込み、体験することができます。

3. 美術館にとどまらない街中での作品展開

美術館という壁を越えて、街中でも作品が展開されます。

■アーティスト紹介

栗林隆 Takashi Kuribayashi



1968年長崎県生まれ。武蔵野美術大学日本画科卒業。その後ドイツに留学、2002年デュッセルドルフ・クンストアカデミーをマイスターシューラーとして修了。国内外の現代美術展に多数参加し、海外においても高い評価を得ている。国内では青森県の十和田市現代美術館にて恒久作品が設置。2010年森美術館「ネイチャー・センス」展、2011年BEYOND MUSEUM「INBETWEEN」展など展覧会多数。2011年第7回武蔵野美術大学建築学科芦原義信賞受賞。

■展覧会概要

展覧会＝栗林隆《WATER >|< WASSER（ウォーター・水・ヴァッサー）

会期＝2012年4月21日（土）～9月2日（日）

会場＝十和田市現代美術館、中心商店街ほか

開館時間＝9:00-17:00（入場は閉館の30分前まで）ただし、4月21日は午前11:00開場。

ただし、下記の開館日は、19時30分まで開館を延長します。4月27日（金）～5月6日（日）、8月3日（金）～5日（日）、10日（金）～12日（日）。

閉館日＝月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日。ただし、5月1日、8月6日、13日は開館）

観覧料＝一般500円（常設展とのセット券400円）、団体（20名以上）300円、高校生以下無料*常設展示を観覧する場合は別途観覧料が必要です。

主催＝栗林隆展実行委員会（十和田市現代美術館、株式会社まちづくり十和田、十和田市商店街連合会）

協力=ART & STYLE/ape rossa、一般社団法人モア・トゥリーズ、H.L.N.A、株式会社ウェットスーツチコ、株式会社三陽商会、株式会社サンヨーソーイング、上北森林組合、志津野雷、関澤製作所、ビークル・プラス、FLAT、武蔵野美術大学日本画研究室、ムトウ工作、有限会社現代工房、有限会社吉田造園企画

後援=東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会
企画協力=ナンジョウアンドアソシエイツ

■イベント 会期中にギャラリー・トークなどのプログラムを予定しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

セレモニー

日時：2012年4月21日（土）10:00- 会場：十和田市現代美術館 *要申し込み

記者会見

日時：2012年4月21日（土）16:00-17:00 会場：十和田市現代美術館 *要申し込み

レセプション

YATAIを囲み、ライブを開催します。

日時：2012年4月21日（土）17:00-

ゲストミュージシャン：CINEMA dub MONKS ほか

会場：十和田市現代美術館 協力：マルキュー、モカンボ

アーティスト・トーク

作家およびゲストを招いたトークを開催します。

ゲスト：中田英寿（一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATION代表理事）、南條史生（森美術館館長）

日時：2012年4月22日（日）14:00-15:30

会場：十和田市現代美術館 先着50名様（要展覧会チケット）



三本木小唄栗林ナイト

好評を博した盆踊り「三本木小唄ナイト」再び。展覧会フィナーレにあわせた盆踊り大会を開催します。

日時：9月1日（土）18:30-

会場：十和田市現代美術館屋外イベントスペースもしくはアート広場（雨天時は美術館内）

※展覧会に関するお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。

ナンジョウアンドアソシエイツ

担当 市川 090-7947-1289 ichikawa@nanjo.com / 新居 (にい) 090-8081-1762 nii@nanjo.com

<http://www.towadaartcenter.com>

2 指定管理者制度移行と新しい運営体制についてのご案内

平成24年4月から十和田市により、十和田市現代美術館に指定管理者制度が導入されることになりました。これに伴い、同市による公開公募が行われ、その結果、ナンジョウアンドアソシエイツグループ（エヌ・アンド・エー株式会社、株式会社十和田ビルサービス）が、指定管理者に選定されました。運営期間は平成24年4月から平成27年3月までとなります。新たな館長には、元国際交流基金理事であり、日独ベルリンセンター副事務総長（平成24年4月1日より就任）でもある坂戸勝（さかとまさる）、副館長にアーティストである藤浩志（ふじひろし）を迎えることとなりました。

運営の移管に伴い、私どもナンジョウアンドアソシエイツグループは、下記の運営方針をもとに、より一層地域に根ざした美術館運営をめざしてまいります。

【目的】

1. 市民や展示の参観者に、さまざまなアート体験とアート活動参加の機会を提供し、「地域に開かれた美術館」を実現する。
2. 国際的水準の展示事業等を行うことで、美術館及び十和田市の魅力を日本の内外に発信し、「観光資源としての価値」を創出する。以上を通じ、「文化による地域づくり」を実現する。

【目的を実現する方法（四つの連携）】

1. 運営委員会、友の会、美術専門家のネットワークなどと連携し、国際的水準の展覧会や市民が参加しやすいイベントなど多様な事業を企画・実施する。
2. 地域の各種団体と協力し、アートをまちなかにも展開するとともに、観光振興行事などにも積極的に参加する。
3. 国際的事業の実施、海外のアート関係者との交流などを通じ、海外とくにアジアからの参観者を誘致する。
4. 多様なネットワークを通じ、国内外への広報を効果的に推進する。

【運営への取り組み姿勢】

1. 公の施設として、公平で安全なサービスを提供する。
2. 民間運営団体として、親切・創造的・機動的・効率的な運営を推進する。
3. 運営に従事する者全てが各々の役割を果たすとともに、課題に対しては全員が協力して取り組む。
4. 美術館を支える基盤を広げるため、さまざまな連携を拡大する。

■ ご挨拶

館長ご挨拶

平成24年4月から、個性的な常設展示とまちに開かれた建築で知られる十和田市現代美術館の館長に就任いたしました。十和田市のアートを生かしたまちづくりの中心となる美術館がますます創造的で国内外から注目を浴びる存在となるよう尽力したいと思います。そのために、アートの深く多様な魅力を美術館とまちなかで体験する国際的水準の企画を引き続き開催してゆきます。21世紀の世界では、創造性豊かな人材こそが活力ある社会を築きます。美術館の活動を通じ、十和田市がさまざまな創造的人材の集う場となるよう努めます。美術館と中心市街地に展開したアート作品が示すように、現代のアートは国境を超えて広く人々がともに楽しみ味わうものとなっています。国外からも十和田市を訪問する人が増えるよう国際的な企画にも力を注ぎます。美術館が十和田市を中心とする地域の活力のひとつの源となるよう地域社会との連携もいっそう深めたいと思います。

館長 坂戸勝



1948年生まれ。京都大学文学部卒業。1972年4月財団法人国際文化振興会職員。同年10月国際交流基金職員。舞台芸術の国際交流業務を経て、1977年から81年まで同基金バンコク事務所（タイ）勤務。日本研究課長、日本語国際センター総務課長を経て、1990年から93年までケルン日本文化会館（ドイツ）副館長。財務課長、企画室長を経て、1999年から2002年まで外務省出向（在ドイツ日本大使館公使兼国際交流基金ケルン日本文化会館館長）。同基金企画部長、企画評価部長を経て2005年から2007年まで再度外務省出向（在ニューオーリンズ日本総領事館総領事）。2006年ドイツ連邦共和国功労十字章小綬章受章。2008年から2011年まで独立行政法人国際交流基金参与を経て理事。

副館長ご挨拶 -地域の新しい価値を作り出す為に。-

アートの価値のありようは、その時代が何を求め、どこに向かっているかを象徴するかのよう刻々と変化してきました。人口増加・経済発展を前提とした中央集権型の社会システムから脱皮し、ネットワークを前提とした循環型社会への転換が求められる現在、地域に求められる価値のあり方も随分と変化しています。

環境・防災・福祉・医療・教育・産業等、地域に内在する様々な分野での問題に対して、それを乗り越える方法をイメージする力（想像力）、些細な違和感に向き合い形にしようとする力（表現力）、大切なことを語り合える力（対話力）、そして信じる方向に一歩動ける力（活動力）を身に着けることが必要です。これらの力は一般的な生活を営む上でも体力や知力同様に必要不可欠で、誰もが生涯使い育て続けるように努力するものだと考えています。十和田は地域とアートの関わりの先駆地として世界的にも注目されています。地域に開かれたアートセンターとして地域の皆さんと様々な対話を重ね、それぞれの現場で先駆的活動の実践を楽しみたいと覚悟しています。

副館長 藤浩志



1960年鹿児島生まれ。美術家。京都市立芸術大学工芸科在学中に演劇に没頭。空間や地域での表現に興味を持つ。同大学院美術研究科修了後、パプアニューギニア国立芸術学校講師。都市計画コンサルタント勤務を経て藤浩志企画制作室設立。国際展等の出品と並行して対話と地域実験を重ねる手法により全国各地の100を超える地域系アートプロジェクトの発生と展開に関わる。また大阪・埼玉・福岡・鹿児島等で「つくる拠点」を整備し活動の連鎖を促す。近年は各地の自治体や公共施設と協力して防災・環境・教育・地域整備にアーツの手法を持ち込む実践を模索。NPO法人プラスアーツ副理事、藤浩志企画制作室代表、かえっこ事務局パートナー、神戸大学表現ワークショップ論非常勤講師。

■組織（2012年4月1日より）

○管理運営

館長：坂戸勝、副館長：藤浩志

特別顧問：南條史生（森美術館館長、前十和田市現代美術館運営委員会委員長）、顧問メディア担当：小林ベイカー央子（前十和田市現代美術館特任館長）

プロジェクト・マネージャー：新居音絵、管理部長：佐々木保信、学芸員（事業）：佐々木美華子、広報・管理補佐：豊川大樹

○経営

ジェネラル・マネージャー：磯崎寛也（エヌ・アンド・イー株式会社代表取締役）、ファシリティ・マネージャー：今泉湧水（株式会社十和田ビルサービス代表取締役）

■2012年度主な企画展について

栗林隆《WATER >|< WASSER》展 2012年4月21日（土）～2012年9月2日（日）

（仮称）奈良美智展 2012年9月下旬より2013年1月中旬

■参考：Arts Towada とは



近年、省庁再編による国の事務所の統廃合や合同庁舎整備に伴う出先機関の転居などにより、市のシンボルロードである官庁街通りに多くの空き地が見られるようになりました。そのため、十和田市ではより魅力的で美しい官庁街通りの景観を作り出すとともに、未来へ向けた新しいまちづくりの一環として「Arts Towada」計画に取り組んできました。この計画は官庁街通りという屋外空間を舞台に、通り全体をひとつの美術館に見立て、多様なアート作品を展開していくものです。このような取り組みは世界でもまれな試みです。またアート作品に加えて、十和田市の歴史や美しい自然、そして地域のもつ活力を引き出し未来へつなげていくような仕掛けを随所に盛り込むことで、十和田市を個性あふれる『アートの街』『感動創造都市』として国内外の多くの人々に印象づけることを目指しています。

その中核施設となる十和田市現代美術館（設計：西沢立衛）が2008年度に開館、引き続いて美術館向かい側の税務署跡地他の整備およびシンボルアートの設置を行い、Arts Towada は2010年春にグランドオープンいたしました。

※本件に関するお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。

ナンジョウアンドアソシエイツ／十和田市現代美術館

担当 新居（にい） 090-8081-1762 nii@nanjo.com／豊川 0176-20-1127 info@towadaartcenter.com